



サカタニ友の会ニュース

発行者
株式会社サカタニ
 集西楽・サカタニ
 ファミリーマート
 サカタニ京都七条店
 〒605-0993 京・東山区七条こころ坂下
 ・075-561-7974
 URL www.sosake.jp/
 E-mail info@sosake.jp
とんからりんは
 毎月発行の
 会員新聞です
 編集・西谷義郎
yosirou@sosake.jp

梅小路公園に

京都水族館

鉄道博物館

建設計画が着々進行

【一】内は京都市建設局建設企画部建設総務課ホームページから写真・文転用した。

【梅小路公園・緑の少ない都心部に大規模な緑の拠点を創出するため、国鉄清算事業団所有の梅小路駅貨物跡地約110ヘクタールを「都心の緑の創造」「歴史の継承と未来への飛躍」をテーマに建設した公園です。本公園は、災害時の広域避難場所としての機能も合わせ持ち、多目的な

梅小路公園朱雀の庭から

緑の館を望む



利用が期待できる市営公園としては二つ目の総合公園です。面積17.133平方メートル・開設年月日平成7年4月29日・主要施設 朱雀の庭、緑の館、いのちの森、ふれあい広場、チンチン電車、芝生広場

開設14年を経て梅小路公園は木々が繁り野鳥、昆虫も増え、公園としての価値も高まってきた。その梅小路公園に、カンプの宿で有名なオリックス(不動産)の提案で「水族館」と「鉄道博物館」をつくる話が「土地所有者である京都市」の間で進んでいる。かつて市が計画した鴨川の「フランス橋」が市民の猛反対運動で架橋を断念し苦い経験からか「水族館等」の問題は京都市は市民に余り知らさず静かに進めてきた。全く知らない京都市民も多い。

「とんからりん6月号編集後記」には賛成出来ない意見を書いたが、更に詳細を知るため8月23日法然院での「第3回京都水族館と京都鉄道博物館と梅小路公園の未来を考える会(以下考える会と略)」に参加し経過を知った。

昨年七月に提案を受け、やっと先月29日(七月)開かれた地元説明会はオリックスと「西日本」が主催。「地主」京都市はオブザーバー出席と言った。オブザーバーとは傍観者、観測者のこと、京都市は地主で当事者、そんな逃げ腰ですむ問題ではない。配布された資料には平成22年1月(後四ヶ月)に着工(予定)書かれていた。その上、「この建設許可は議会に報告するが、議会の決裁事項ではなく最終的には市長の判断だ」と言う京都市緑地課の回答を知った。公共施設の公園で「民間営利目的の施設」の計画が(市議会審議抜きで)市長判断だけとなるなら結果責任を民間業者と市長が追うことを保証して貰いたい。中小零細企業家の中には

事業失敗の責任を「命」で清算する人も増えている時勢なのだから。京都は歴史的に埋蔵文化物」の多い町。その調査で工事が大幅に遅れて困った話も多く聞く。近くのパークホテル(現ハイアット)建築時調査が一年近く掛かり難儀したことを関係者から聞いた。

「考える会」に参加された歴史学者は「公園」付近は平清盛一族の私邸が集まっていた場所。十分な調査が必要と意見があった。埋蔵物調査でも「官民格差」があるようだ。さて、水族館なら「海水は」になるが「水道水を使ってつくる」そうだ。人工(偽)の水で、檻にや水槽で飼われる魚や哺乳動物に聞けばキット梅小路水族はイルカ!と叫ぶであろう。

14箇所、国宝210件(全国のおお8%)重要文化財523件(全国のおお13%)も有り、内外から年五千万の方々が古都京都らしさを求めて観光の来られ、他の都市に「うらやまし」く「見られている都市。京都にワザワザ「水族館」を目当てに来る人はそう多くないだろう。他所のもんをすぐ欲しがらる**がんまち**水族館は止めよう。市電の廃止、地下鉄、高さ制限、もう一寸時間を掛けたら良かったのに。「慌てる乞食は貰いが少ない」やはり野に置き蓮華草「昔の人は「エエ」といいますなあ」**がんまち**は京ことば。

前・朝粥を食べる前
9時～9時40分

第56回・8/23 開催
朝粥食べておしゃべり会

演奏・カンチの
「いつもの唄」



口から出まかせアドリブライブ・とオリジナルなブルースの熱唱に拍手も弾みました。 **カンチさんおおきに!**

東山・馬町空襲と五条通強制疎開資料
 昭和20(1945)年7月16日・死者35名・負傷者56名・家屋被爆132軒も出た空襲の詳細47ページの記録(コピー)・ギャラリ集に置いてあります。ご自由にご覧ください。

「とんからりん」
 今も、まだ現役で仕事をしているのに、先日、来年7月31日期限付きのき後期高齢者医療保険証が届きました。
 薄っぺらいハガキより、やや小さい紙、名刺入れにも入らない誠にも「安っぽい」ものです。
 何時死なはるかワカラヘン、毎年更新。そやからカードにするのは勿体ない「紙」でエエヤン! そんな官僚的合理主義が働いたのかと想像して賞味期限切れ早く死ねかと老人はヒガミます。
 長いこと働いてモロタ。ご苦労さん医療費は心配おかけしまへんえ。後はご安心をが世界の常識! 年令75で保険制度を区分けしている国はわが日本だけと聞く。他国は敬老の精神が生きている。戦中、戦後の苦しい経験の子や孫にはさせたくない、お年玉、学費応援等で甘やかした老人世代の結果責任も免れない。物わがりの良さ、優しさだけでは養殖的人間増える。荒波に揉まれてこそ「強い人間」に育つ。老人力を結集して、「若者を鍛えよう」年令で差別の医療制度廃止へ!

ヨシイちゃんのひとりごと



京都人は口が堅い

お盆に入った日、左の女性たちの写真を貞教学区のKYさんがお届け下さった。前列右から二人目は私の母方の祖母、左端は母の末妹、その後ろに【母】が写っている。多分母方祖父の法事(40年以上前?)に集まった姉妹と縁者だろつ。私が知らない方も多いので、わが母の亡くなる2年前に、兄だと言っていたら、



以後親しくしている異母弟2名と妹に早速「誰や教えて」と写真と手紙を出した。この「とんからりん」が届くころは全員の名、関係は解っているだろつ。(全員は駄目だった)

写真をお持ちのKYさんは私が酒小売を始めた頃からの得意先「酒谷さんのファンや」と言われたこともあり、ある期間お仕事を手伝って頂いたことがお方。7年前、生母のことを書いた後、酒谷さんが書かれた「私の母」のことは以前から知っていたのだと言われた。

生母らが住んでいた町内にお住みで、祖母らと極く親しくされていたと聞いた。そのお方だけではない。6月に亡くなった妹に「お前とわし、母が違つのを何時頃知った」と尋ねたら、「小さいころから知ってた工」という。私が知るより前に既に知っている知らんふりしてた。「ホンマか!」と驚く。ご近所の方々も恐らく先刻承知だったのだ。

私が生母の存在を知ったのは高校二年、満16才時。私は「お母さん」と呼び弟妹らは「お母ちゃん」。他にも何か変だなあと思つたはいたが、「私の子ではない」と直接に言われてヤッパリそうつたのだ。

かとお納得した。家族、親戚、私のお守役だった「マーチ」(丁稚さんでその夫妻の最後も見送つた方)も口外しなかつた。貞教尋常小学校へ入学、(は組則武先生「早生まれの組」から六年卒業まで同窓生の「U」。生母に会つて彼と親戚だと知つた。後に同窓会で「U、お前とオレは親戚だったと何時から知っていた」と聞くと、シャラツと「入学した一年の時からやなあ」と又カス。「何で僕に言わんかつたんや」と詰ると「親が言うたらアカン」と返す。60年も黙つて居つた。私は16才まで知らず、知つてからも言つことを、はばかつた居たのに。「知らぬが仏」である。

「とんからりん」8月号「原爆のキノコ雲」の記事を見て下さつた読者から、八月号朝日新聞社発行の週刊誌『アエラ』(8月10日号)に「8/6エノラゲイは二度舞つた」という記事が掲載されています。とのメールが届きました。「」の文です。ご了解を得て転載しました。【それによりますと、朝早くエノラゲイは一度広島上空を飛びました。そのとき空襲警報が発令されたそうです。なにごともなくエノラゲイは東のほうに飛び去り警報は解除されました。そして、あの時刻、働くためや、学校に行くとために人は移動を開始しま

東山馬町空襲 1945. 1/16 五条通り強制疎開

1945年(昭和20)の国民学校5年生の編集者 東山馬町爆撃は死者35人・も詳細を始めて知つた。重傷21人・軽傷28人・火傷爆撃後、学童疎開や五条5人。全壊家屋29戸・半通りの民家を強制的に取壊22戸・損害家屋300戸り壊しが早まった。という大きな被害があり市民が静かに寝ている町でしたが、軍隊や政府のに爆弾投下。人が死ぬこ 厳重な言論統制で、当時 れが戦争です。 64年前。馬町爆撃の詳細文(写真入)と 五条通り強制疎開の資料が入りました。 集西楽にあります。

もし幼年時代に「母」ことを 人は亡くなった。知らされ、聞いていたら良し 後の6人は元氣、甥姪、そ 悪し抜きで「私の今は無い」 の子供は今も増える。その と思う。結果として「京都人 者たちは「京都人の口の堅さ の口の固さに」私は護られて れたのだ。 生きて来られた。 実父母も異父母も、弟妹た 私は生んでくれた父母と京都 ちと一緒に見送られた。断念の の人々や私のまわりの人たち ことに6月8日にその妹の一 に感謝 感謝・感謝である!。

平成21年(2009年)平和記念式典 戦争は人間を狂気にする! 核兵器は人類破滅の凶器だ!



「とんからりん」8月号「原爆のキノコ雲」の記事を見て下さつた読者から、八月号朝日新聞社発行の週刊誌『アエラ』(8月10日号)に「8/6エノラゲイは二度舞つた」という記事が掲載されています。とのメールが届きました。「」の文です。ご了解を得て転載しました。【それによりますと、朝早くエノラゲイは一度広島上空を飛びました。そのとき空襲警報が発令されたそうです。なにごともなくエノラゲイは東のほうに飛び去り警報は解除されました。そして、あの時刻、働くためや、学校に行くとために人は移動を開始しま 終戦後すぐ、アメリカ軍は被 未来のために核廃絶を叫ぼう!

京都&東山
ぶらりピカリ 17

葬送地 鳥辺野

とりべの

鳥辺野(とりべの)は、東山区南部 阿弥陀ヶ峰(あみだがみね)北の鳥辺山(とりべやま)ふもと一帯、五条坂から南麓の今熊野にいたる丘陵地の地名。このあたりに平安京遷都以前から鳥部氏が住んでいたところから鳥辺野と言われてきた。そして北の蓮台野、西の化野(あだしの)と並ぶ東の葬送の地となっていた。今も東西本願寺の廟所もあり墓地が多くある。

「鳥辺山」は、西本願寺西大谷墓地の中の小高い山で、遠くからは山には見えない。「阿弥陀ヶ峰」は、七条通の真東



の円錐状の優艶な山(写真)。東山三十六峰の一つ高さ、約193米 天平年間(724-749)僧

行基が山腹に阿弥陀像を安置したことから「阿弥陀ヶ峰」と称されるようになったといわれ、山頂には、豊臣秀吉の墓所の豊国廟がある。

1670年(寛文10)鴨川の両岸

に石堤が築かれ、洪水の悩みが解消し、京都の市街地は鴨川を越えて東へと発展した。

祇園社、建仁寺などの社寺に門前町が出来て、岡崎、聖護院、知恩院の門前に多くの文人が集り住んだ。

また四条河原は祇園社の西門前通にあたり遊興地としてにぎわった。祇園町や芝居町では遊女歌舞伎や人形浄瑠璃などの大小の芝居小屋が建ち並び、さらに茶屋や旅館が隣接してさかえた。岡本綺堂小説家、劇作家(Stonesおかもと きどう)が、お茶屋、鴨川を舞台に展開する「鳥辺山心中」を書いている。

この「鳥辺山心中」は、2004年10月、花の都パリはフランス国立シャイヨー劇場で公演され

連日満員の盛況。海老蔵「半九郎」菊之助「お染」の名演技でパリっ子が目を黒く?した。

「鳥辺山心中」を仏語では「Double Suicide aumont Toribe (ダブル スイシード オモン トリベ)」と言っぞうだ。「心中」という意味や言葉がないので、「ダブルの自殺」と表すそうです(内は六代目片岡市蔵さんHPより借用) 鳥辺山心中の映画や歌謡曲もつくられている。

東山のふもとは、京焼の窯地として発展した。京焼は「お茶(寛永元)瀬戸の陶工三文字屋九右衛門が栗田口で窯を開き、今の清水焼に続いてきた。社寺仏閣門前には鴨川の豊かな伏流水もあり酒蔵が多く出来た。

担たが、月6万5千円(満額)の老齢基礎年金で生活している人には難しい。「無年金で生活保護を受ける方がまし」。生活保護は月6万円だが、家賃や医療費を負担してもらえないからだ。「偽装」離婚して生活保護を受ける高齢夫婦もいる

在宅ケアが困難なら老人ホームはどうだ。だが、定員が限られている特養は「身寄りの全く無い人以外、徘徊など相当の緊急がないと入れない」。ケアハウス(軽費老人ホーム)の利点にも一定の経済力が必要だ。介護保険導入から来て10年。保険料と公費で多様な介護サービスが受けられるメリットは大きい。半面「保険があるからと都会に出たまま田舎の親をほったらかしにする人もいる。家族のつながりが薄れた」と彼女は嘆く。

高齢化率が30%近い府北部ではわずかな年金をやりくりし、夫婦で支え合う高齢世帯が少なくない。独居も多い。衆院選挙で各党は、介護保険の財源を盛んに論じるが、現場の実態に即した改革こそ望みたい。

以上【凡語】8月29日転記す。明日は投票日、変わるかな変わらないうらなうな。そこが問題だ。凡語の述べていることは現実。誰の所為でなく、ガムシヤラニ生きて来た今、老人と呼ばれる世代に責任はあるのでは。安保・元氣を出さなきゃ...



現在の松本酒造

1年(寛政3)創業の松本酒造(現在は駐車場・酒造りは伏見に集約された・日出盛)が昭和30年代まであった。

我が家の井戸は1899年(昭34)頃、協和(りそな)銀行がビル化された時、水は干上がったが、たまにお邪魔する上京区出水の佐々木酒造様(聚楽第)の水より水温がたかく、やや柔らかい水だったと思つ。井戸の深さ違いかも知れないが、

わが「サカタニ」も井戸が使える(昭12)北川酒造、真裏には「61年(寛政3)創業の松本酒造(現在は駐車場・酒造りは伏見に集約された・日出盛)が昭和30年代まであった。

全く運動しない人 = 1として、ウォーキング週3 = 0.67 強度な運動週3 = 0.5 知的活動の部 文章を殆んど読まない = 1。 良く読む人 = 0.88 楽器を演奏しない人 = 1。 演奏する人 = 0.31 チェスゲームを 殆んどしない人 = 1。 殆んどしない人 = 0.26 よくする人 = 0.24 ダンスを殆んどしない人 = 1。 よくする人 = 0.24 厚生労働省平成17年度発表 「認知症予防支援マニュアル」から と友の会会員さまのメモ参照

アルツハイマー型 認知症危険度

運動の部

全く運動しない人 = 1として、ウォーキング週3 = 0.67 強度な運動週3 = 0.5

知的活動の部

文章を殆んど読まない = 1。 良く読む人 = 0.88 楽器を演奏しない人 = 1。 演奏する人 = 0.31 チェスゲームを 殆んどしない人 = 1。 殆んどしない人 = 0.26 よくする人 = 0.24

凡語

京都新聞 8月29日

「お金がないと幸せな老後は送れないのかなあ」。舞鶴市の訪問介護ステーションでケアマネージャーを勤める女性はつづやく

寝たきりで自分で排せつができない「要介護4」のお年寄りの場合、月額30万円の在宅介護サービスを受けられる。しかし、日に2回のおむつ替えと週2回のおふるだけで介護保険の支給限度を越えてしまう

たらかしにする人もいる。家族のつながりが薄れた」と彼女は嘆く。高齢化率が30%近い府北部ではわずかな年金をやりくりし、夫婦で支え合う高齢世帯が少なくない。独居も多い。衆院選挙で各党は、介護保険の財源を盛んに論じるが、現場の実態に即した改革こそ望みたい。

以上【凡語】8月29日転記す。明日は投票日、変わるかな変わらないうらなうな。そこが問題だ。凡語の述べていることは現実。誰の所為でなく、ガムシヤラニ生きて来た今、老人と呼ばれる世代に責任はあるのでは。安保・元氣を出さなきゃ...

第20回・こころ坂8月26日開催 楽々落語会・大盛況

頭上を気にしながら 座布団につく吉弥さん



二階「集西楽サカタニ」のスペースで桂米二さんの定席の形で始めた「落語会」早20回になりました。今回は、ひろば・吉弥・米二のお三方出演で満員札留でご迷惑をかけました。

八回の予定で連載をしていた古田玄州氏による「相統よもやま話」著者のご都合で誠に申し訳ありませんが連載を中止しました。ご了承下さい。

酒屋で生きて 生かされて

第四十一話

2009年

乾坤一擲の 反逆

(昭36)
株酒谷本
店は株福

井善四郎本店社長福井淳蔵氏を社長に向かえ同社の子会社になりました。私は常務になり現場を仕切ることになり、2004年(昭39)結婚、長女が生まれました。安い報酬で生活は大変でしたが、店の賄を受け持った家内のやり繰りでのぎました。

父は既に営業していた(有)いずみ屋(大黒湯)と(有)山科いずみ屋の収入で過していました。住むのは旧屋と新屋を繋いだ2階部分でした。2004年(昭29)弟達の母と離婚後も複数以上の女性と付き合いする父、私たち子供はそれに振り回されました。その後、前の離婚の原因になったc子と3度目の結婚、私たちと同居することになりました。

そして翌年父に子供が出来たと知らされました。私の妻も妊娠中、父と息子の子と同じ年に生まれるのです。わが子と異妹と共同生活は耐えられないと、住宅公団住宅に申込みましたが、収入が入居条件に満たず断念。福井社長に相談しますと、鳥取支店の責任者で行くなら

住宅を保証するとの答えです。父は既に酒卸仕事から外れています。福井社長の言葉から私も(京都の)仕事から遠ざけたいのだからと判断し、取りあえず自活の道をタクシーでと二種免許を取りました。

源泉所得税も納める必要のない報酬でも、父の債務返済保証を会社しがし、その保証で会社に担保にいられた父名義の店を残したい気持ちで懸命に働いて続けましたが、ガマン限界は越えました。

父に酒屋の仕事も、家も捨て出る、今後一切何も言わないから住居用に借家の一軒くれと申しました。「そらアカン一寸待て」と言い数日後、自分達が住んでいた部分に施設して「山科」へ移りました。

琵琶湖一周

金澤 ひろあき

五口らう人がいると旅は楽しい。八月はじめに俳句仲間の青島巡紅さんのご厚意で、琵琶湖一周をしてきました。

今年梅雨あけが遅く、この日も雨だったのですが、九時に集合場所の山科駅に着く頃には晴れ。三村須美子さん、内園日出杜さん、二神大輔さん、遠く箕面より裸時さんもこられます。

青島さんにレンタカーを借りてもらい、青島さんの運転で逢坂の関を越えると、もう大津です。膳所の義仲寺に向

恐らく私の性格を知っている父は当時として「家」を守れるのは私しかない判断したのと「すまない」の気持ちも有ったのでしよう。

昭和38年(株)酒谷本店(現在地)



酒問屋として手狭で、ご近所にも瓶や入荷で迷惑をお掛けしている状態、移転をして他の使い道を考えた方が

が良い、その前に「家抵当権」抹消をと会社実印を無断持ち出し福井社長に事後報告をしました。すると「取締役会も私の承認も無い背任行為だ」烈火の気迫で叱られました。

かいます。松尾芭蕉のお墓のある寺です。庭には芭蕉の葉が青々と茂っています。小さな池には小さな亀。芭蕉の墓は、こんな小さなたたずまいの中にあります。以前は湖岸が寺の前まで来ていたことで、そうすると眺望が広い湖南のたたずまいの中にあつたことになりました。皆さんのイメージの中の芭蕉と、どちらのたたずまいが一致するとおもいますか？

私は「背任に当たらない、既に会社は家賃未払金が設定額以上ある順序的には問題があつても父が要求すれば同じ結果でしょう」と説得。最終的にはそれで解決しました。

これは乾坤一滴の勝負でした。父に到着後に経過報告すると「そうか」と言つて笑いました。その後、移転計画も進み、2年後(株)酒谷本店は上鳥羽に移転。私は二人の娘の父親です。子育ても出来ない生活から抜け出す決心を固めたのです。 次回はいずみ屋



いずみ屋前・わが父

あつという間になくなりました。安土城は日本ではじめて天守閣が造られたお城だそう。それまでの「隠れる」ため山城・とりでから、統治力・支配力を形にとして「見せる」方向に切りつかえたのです。足利義満の三層の金閣を越える五層の天守閣は今はなく、石垣と石段が復元されているばかりです。

編集後記

この号は 総選挙の結果が出る前に書きました。多分自民党が野党、民主党が多数派になっているのでしよう。

投票率は、60%チョイ。どうせ大して変わらへん。政治なんて関係ない。とか理由を付けて棄権する人30%以上。60%越えたら上等と思う方が多いでしょうが、小選挙区では有権者の20%で当選する可能性も有るのです。

どの候補者にも投票したくない。そんな場合、無記名白票は「無効票」になります。(公選挙法第68条)

自男、民子のどちらも嫌の人は棄権するしかない。その意思を白票で示せると良い。政治は無関係と無関心でも法事国では生まれる前も死後も関わりが切れないもの。祖父や父の代選んだ政治で戦争の惨禍を経験し、今や民主主義。多くの人の意見が表せ、多くの人が参加できる選挙が望ましいと思う。



(写真は安土城石段・公開石を使用したもの) 使用したものを

汗っかき ひろあき

(注)ご投稿は、この後、近江八幡以北に続きますが、次回に掲載になります。ご了承ください。